商店街カルテ

東向島駅前商振組（墨田区）

三方よしを目指して

中小企業診断士　武田　明子

1．商店街の概要

東向島駅前商店街は、東京都墨田区、東武スカイツリーライン（伊勢崎線）「東向島」駅前の「粋いき通り」（博物館通り）を中心に48の会員店舗（別途賛助会員店舗2）で構成される商店街である。商店街組織は昭和59年に創立され、平成23年4月に商店街振興組合として法人化された。

東武伊勢崎線の東向島駅が設けられたのは、明治35年。（当時の駅名は「白髭」）それ以来、東向島は、工業と商業の街として、また住宅地として発展してきた。商店街は地域の人々とともに歩み、100年の歴史をもつ。駅の近隣には東武博物館や向島百花園など人気スポットもあり、駅前は人通りが多い。主なイベントは、年2回開催されるサマーフェスタとウィンターフェスタである。商店街会員が中心になって実施する、手作り感満載のイベントであり、毎年、盛り上がりを見せている。

2．寺島なすブランド化への取り組み

寺島なすは、江戸時代、東向島周辺が「寺島村」と呼ばれる農村だった頃、この地域を代表する作物だったが、明治になると地域一帯の工業化が進み、大正の関東大震災、昭和の戦争もあり、農地の減少とともに寺島なすはいつの間にか忘れられていった。しかし、平成9年に白髭神社の境内に「寺島なす」の説明板を設置したことをきっかけに寺島なすが見直され、寺島なす復活のプロジェクトが始まる。現在、寺島なすは、多摩地方を中心に栽培されており、また生産量は多くないが、少しずつ取引されるようになっている。

2010年頃から「寺島・玉ノ井まちづくり協議会」が中心となり、江戸野菜・寺島なすとして普及、ブランド化を図ってきた。キャラクター「寺島茄子乃介」を使用した小冊子の作成、また寺島なすのプランター等を設置し、情報発信を行っている。2013年に「寺島なすスイーツ甲子園」、2014年には「寺島なすサミット」を実施。寺島なすを使用したお菓子や商店街参加店でメニュー化するなど様々な取り組みを行っている。このような取り組みが評価され、2015年11月には、第11回東京商店街グランプリ優秀賞を受賞し、同年12月は大分県の修学旅行生の視察を受けた。また最近では、テレビや新聞など各種メディアの取材を多数受けており、注目を集めている。

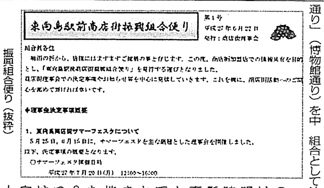
3．課題と今後の取り組み

様々な活動を行っている東向島駅前商店街だが、問題もあがってきている。組合設立時、51あった加盟店数は現在48となり、減少傾向にある。脱退の主な理由としては、「組合に参加しているメリットが感じられない」ということがあげられる。また、「商店街活動として何を行っているか分からない」という声もあがっている。

以上のことから、「①商店街活動の情報連携」、「②商店街組合参加のメリット発信」が東向島駅前商店街振興組合の今後の主な課題である。

これらの課題解決の為、商店街支援として、商店街会員とともに以下の取り組みを行っていく。①商店街活動の情報連携として、昨年発行を開始した「東向島駅前商店街振興組合便り」を継続、発行回数を増加する。より密度の濃い情報連携を行うことで、商店街活動への理解を促し、商店街活動への参加率向上を図る。②商店街組合参加のメリット発信の1つとして、個店の経営力強化につながるビジネスセミナーを開催し、加盟店数の減少に歯止めをかけ、商店街全体の活性化を図る。第1回目は、助成金、補助金についてのセミナーを今年の9月4日に開催予定である。その他、商店街活性化に向けて、東向島に存在する「寺島・玉ノ井まちづくり協議会」や「町内会」などいろいろな団体と連携、協力しながらイベント等を企画し、街全体を盛り上げていく。

駅前という地の利を生かし、寺島なすのブランド化を推進、情報発信するとともに、商店街の基盤である、個店の経営力の強化を図っていくことで、「住んでよし、遊んでよし、商売してよし、三方よしの東向島」として、地域に根ざした商店街の発展を支援していきたい。


東向島駅前商店街振興組合便り

◆理事会決定事項概要

1．東向島商店街サマーフェスタについて

振興組合便り（抜粋）

満点カード、5割増

熟年者、子育て層を優遇

江戸川商連で新ポイント制

江戸川区商店街連合会（松本勝義会長）では、このほど子育て世帯および熟年者（65歳以上）に対象を絞った、ポイントカード「プレミアムポイントカード」を新たに発行した。同区商連では区内共通ポイントカードを発行済みだが、今回は区の少子高齢化対策の一環として、子育て世帯や熟年者への優遇策を目的に掲げた別立てのカードとして発行するもの。資金面からの生活支援効果に加えて、地元商店街での買い物を後押しすることによる地域経済活性化、さらには商店街の拠点性強化による地域コミュニティ活性化効果もねらう。

プレミアムポイントカードでは、従来のポイントカードと同様に加盟店店頭での購入額108円あたり1ポイントを提供し、350ポイント（3万7800円の購入に相当）を貯めると満点カードとなる。ここで、従来カードでは500円分の買い物券となるところを、プレミアムポイントカードでは5割増の750円分へと優遇している。

プレミアムポイントカードの提供方法としては、ポイントカード加盟店に100枚ずつを配布して店主が直接手渡ししており、さっそく在庫がなくなる店舗も相次ぐなど好評。今年度発行分として約4万枚を用意しており、割増250円の充当分として区が約800万円（プレミアムポイントカード3万2450枚相当）を助成する。

プレミアムポイントカードの対象者は、小学生以下の子どものいる世帯および65歳以上の方で、「子ども医療証や保険証などを提示していただくこともある」。従来の区内共通ポイントカードと識別するため、券面はゴールド色としたほか、区商連のマスコットキャラクター「江戸川区商店街ヒーロー エドレンジャー」もあしらっている。

7月10日～20日にかけては発行を記念して、「プレミアムポイントカード発行記念 2倍ポイントセール」を展開して、加盟店店頭にポスターやノボリ旗を掲出してPR。これによりポイントカード全体の認知度も高まったことから、区民からポイントカード未加盟店にもポイントカードを扱っているかとの問合せも相次ぐ。プレミアムポイントカードの発行を機とした消費者のポイントカード利用促進や、現在約200店舗と低迷しているポイントカード加盟店舗数の増強、商店街加入促進にも波及効果が期待できそうだ。

従来のポイントカード（左）に加え、ゴールドカラーの「プレミアムポイントカード」が登場

クールシェアへ 169店が特典提供

多摩市

多摩市では今年も8月1日～8月31日にかけて、市民参加による夏の省エネの取組みとして、楽しくお得に節電行動ができる「多摩市版クールシェア」を実施した。市では「クールシェアパスポート」を市内全戸に配布してホームページでは電子版も用意。スマホやタブレット等の画面提示でも特典を受けられるものとした。

これは市内店舗から魅力ある来店特典を提案してもらうことで、地域経済活性化にもつなげようとの企画。今年もショッピングセンターのテナントを含め市内169店舗が協賛登録。パスポートの提示により、参加無料の「水の縁日」ゲームやサイエンスショーのらくらく科学実験、サイエンスショーなどのクールシェア特典も提供した。

商店街大学からジャンプアップ

3商店街の"面"でPR

第14期生　山野目（やまのめ）俊丈（としたけ）氏　あけぼの（振）副理事長

今月は「立川バル街」（1面に関連記事）、11月にはアニメをテーマとした「立川あにきゃん」と、街を舞台としたイベントが続く立川駅北口エリア。「どの参加店も、一度足を運んでもらえば必ずリピーターになってもらえる魅力的な店ばかり」。地元3商店街若手からなる実行委員会メンバーとして、準備に奔走する日々だ。

イベント集客のポイントは、「客層の異なる2つのイベントの相乗効果をねらうこと」。第5回目となった「立川あにきゃん」は、コスプレ姿のアニメファンなど全国から約1万人を集客。それに先駆けての「立川バル街」ではチケット1枚使用ごとに、人気アニメの「立川限定描き下しイラストのコースターをプレゼント」。「とくに『プリキュア』登場時は、幼い娘たちもその日を指折り数えていた」と目を細める。

「そんな地元の子どもたちから遠方からの来街者まで、訪れる人にとって安全安心な立川でありたい」。立川市では路上での客引き行為等を取り締まる条例が強化されており、「地域ぐるみのパトロール活動もさらに強化していきたい」。また今年度は、「商店街の公共的役割」をテーマとした都振連の調査・研究事業委員会メンバーも務める。

かつての家業であった旅館跡地には伊勢丹立川が建ち、現在はビル管理業に従事。駅周辺の激変ぶりを間近に見てきただけに「幼いころから"点"の自店や"線"の商店街よりも、"面"の街全体を意識してきた」。「北口3商店街の連携こそが活性化のカギ」との言葉に実感がこもる。

昨年度受講した都振連の商店街大学では、「視察先の近隣型商店街の客と店との"近さ"に触れて、これこそが街づくりの原点だと再確認できた」。かつての近隣型商店街から多摩随一の乗降客数を誇る広域型商店街へ――。そんな"進化"に寄り添ってきた山野目さんならではの街づくりにこれからも注目したい。

「次回はぜひ視察先となって、受講生や松島先生の議論を伺いたい」

東京都の最低賃金

932円へ引き上げ

平成28年10月1日に発効

東京都の最低賃金が、時間額907円から932円（引上げ額25円）に改正され、10月1日に発効します。この東京都最低賃金は、常用・臨時・パートタイマー・アルバイト等の属性、性、国籍及び年齢の区別なく、都内事業場で働くすべての労働者とその使用者に適用されるものです。最低賃金額以上の賃金を支払わない使用者は罰則の対象となります。

東京労働局では、最低賃金の引上げで影響を受ける中小企業を支援する事業として、さまざまな経営・労務管理に関する課題にワン・ストップで無料相談に応じる「東京都最低賃金総合相談支援センター」（☎0120・311・615）を設けています。

海外事情

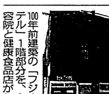
店は観光資源

ハレイワ・メインストリート委員会

米国ハワイ州のサーフィンのメッカ、ハレイワ。20世紀初頭にサトウキビ生産で栄え、メインストリート沿いにはプランテーション時代の面影残す建物が立ち並ぶ。移民労働者だった日本人の店も多く、その店舗建築巡りツアーも催行される。

その観光価値を支えるのは、建物の高さや色彩、看板から街路樹の種類まで、罰則規定するデザイン・ガイドライン。加えて「修復費用を支える市民や企業、財団等の寄付ファンド」とボランティア・ガイドのボウイさん。

ハレイワ・メインストリート委員会では、ゾーニング等でエリア外の開発を抑制すると同時に、メイド・イン・ハレイワを後押し。通り沿いにはウクレレメーカー、サーフボード製造販売店、健康食材会社、アスパラガス農園など地元発の小規模ビジネスが連なる。賑わう"田舎町"は、観光と地場産業をバランスしようとの地域ぐるみの地道な努力が支えている。



100年前建築の「フジタ・ホテル」1階部分を、今は美容院と健康食品店がシェア

東京都商店街ホームページへようこそ

http://www.toshinren.or.jp　まずクリックしてみてください

NEWS&TOPICS
東京都などの行政からのお知らせや都内各商店街が行うイベントを月毎に紹介します。また東京都商店街振興組合連合会で毎月発行している商店街ニュースの記事も見ることができます。

ワクワク商店街アワー
ラジオ番組内の企画で、芸人の皆さんが東京のおもしろ商店街を探検してレポート内容を見ることができます。

商店街活動事例
商店街の活性化のためにソフト(イベント)やハード(施設)を充実させることに成功した商店街の活動を紹介しています。

商店街リンク
東京及び全国の商店街のホームページを見ることができるリンク集です。

商店街 2020 年ビジョン

会員向け情報
商店街振興組合を円滑に運営していくための情報を提供しています。